

## 外国人旅行者向け情報発信の強化部会 これまでの活動経過（2015年—2019年）

### 2015年9月1日 平成27年度 第1回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- エコツーリズム戦略に基づき提案を行った。

#### <主な意見など>

- ✓ 第1期で情報発信体制を構築し、第2期でトレイル整備に取り組む。
- ✓ 入ってくる外国人観光客全員にレクチャーを実施することを考えてもらえないか。ルールを教えるというスタンスではなく、楽しみ方を教える、楽しむにはルールを守ったほうが得だという方向性で進めてもらいたい。
- ✓ 外国人旅行者に向けた情報提供の仕組みができれば、日本人への情報提供は時間の問題で解決できるだろう。知床五湖で行っているレクチャーを公園入口ですることによって、観光客にとっての危険のコントロールができることになる。両町の観光協会と知床財団の連携プロジェクトとして部会設置して欲しい。行政機関を含めて、提案書に記載の想定メンバーで部会を設置することを承認する。

### 2016年1月26日 第1回部会

- 第1回部会を開催し、ワークショップを通じて斜里・羅臼の両町に共通の課題等を抽出した。参集者は33名。

#### <主な意見など>

- ✓ 意見を絞り込んだ上で、どの情報をどう発信していくかと併せ、知床財団独自事業として「知床情報玉手箱」としてスマホ向けサイトを立ち上げることで合意した。
- ✓ コンセプトとしては、斜里・羅臼の両町をつなぐものであること、既存の施設の情報を網羅し、既存施設を活用して発信していくことなどが挙げられた。

### 2016年3月2日 平成27年度 第3回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- 事業の実施状況などを報告した。

#### <主な意見など>

- ✓ 規制や教育という視点ではなく、顧客サービスの向上という認識のもと、受講することによって知床の価値をもっと享受できるという視点で、両町及び両町観光協会との連携を深めつつ進めていただきたい。

2016年4月20日～2017年10月20日 「日刊ヒグマ情報」レクチャー

【知床財団事業】

- 知床自然センターにおける来館者対象の口頭レクチャー「日刊ヒグマ情報」を実施した。2シーズンにわたり口頭レクチャー形式で運用後、インターネット上の発信に移行。

2016年6月24日 第2回部会

- 第2回部会を開催し、情報ポータル事業（知床財団実施）について、試作版を踏まえた意見交換を行った。参加者は20名。

<主な意見など>

- ✓ 知床は一つと言いながらも、両町を訪れる旅行者のターゲットが異なるため、両町が足並みを揃えて戦略を練るのは難しい。
- ✓ ヒグマの情報を広く一般向けに発信することについては、（カメラマンや観光客が逆に集まってしまうことなどを考慮すると）極めて慎重にすべきである。逆に、地域住民に対しては積極的に情報発信すべきである。

2016年7月1日～ 登山口におけるヒグマ情報の発信開始

【林野庁事業】

（現在も運用を継続中）

- 登山口におけるヒグマ情報の発信を開始。情報収集は北海道森林管理局（GSS）が担う形とし、知床財団ヒグマ対策チームとの協同体制をとりながら継続中。

2016年8月1日 情報ポータルサイト試作版の運用を開始

【知床財団事業】

（現在も運用を継続中）

日本語版 <http://center.shiretoko.or.jp/i-box/>

英語版 <http://center.shiretoko.or.jp/i-box/english.html>

○網羅している情報（スマホを前提としたレイアウトだが、パソコンでも閲覧可。）

- ✓ 散策路の状況（開閉情報など）
- ✓ 観光船運行状況
- ✓ バス運行状況
- ✓ 施設開館情報
- ✓ 道路開通情報
- ✓ 週刊知床登山道情報



## 2016年9月6日 平成28年度 第1回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- 事業の実施状況などを報告した。

### <主な意見など>

- ✓ 大雪山グレードと信州のグレードは、過剰整備を防ぐことと利用体験を保護するという両方の観点を考慮して決められている。知床でもこれと同じようなグレーディングができれば、非常に良い情報提供の手段になり、リスク管理の上でも有効なツールになる。
- ✓ 環境省・林野庁で公園管理及び遺産管理に結びつけるよう予算化をお願いする。国では国立公園の利用者増がテーマになっており、知床で先駆的に目指してほしい。

## 2017年2月17日 第3回部会

- 第3回の部会を開催し、28年度の事業報告と29年度の事業計画案説明、意見交換を行った。参集者19名。また、「すべての外国人旅行者にレクチャーを受けてもらう」という目標についての意見交換を行った。

### <主な意見など>

- ✓ レクチャーの全員受講は、外国人限定ではなく、日本人を含めたシステムにならざるを得ない。
- ✓ 具体的な方法は思いつかないが、なんらかのルール化をするのなら、利用者の入り込みに対して功罪が出てくると思われる。慎重に議論する必要がある。
- ✓ 知床五湖の利用のあり方協議会では、利用調整地区制度のレクチャーを拡大できないかという議論がある、関連するのではないか。
- ✓ 登山道のグレーディングについて、大雪は入山規制と無関係なので、同じテーブルに載せるのは乱暴だ。北海道スタンダードを作り上げるぐらいまで広げてもよい。
- ✓ グレーディングについて検討するなら、全道ぐらいの包括的レベルでやれないだろうか。

## 2017年3月9日 平成28年度 第2回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- 事業の実施状況などを報告した。

### <主な意見など>

- ✓ 現在の五湖のレクチャーを入口で全員にできるような体制になることが、知床遺産地域の利用価値に対する納得と価値を高める。それを推進するこのプログラムは非常に重要だと感じる。
- ✓ マップの作成やネット上で展開をする際の経費に関しては、28年度は知床財団の完

全な独自事業として、積立資金から 200 万程度の予算を割り、サイトとマップの構築及び人件費を捻出した。

#### **2015 年—2017 年 遊歩道の歩き方に関するサイト構築 【北海道事業】**

- 2015 年度 フレペの滝遊歩道の新たな歩き方を提案する「デジタル・フレペ」事業でサイト作成を行う。
- 2016 年度 「デジタル・フレペ」サイトを運用。知床五湖の新たな歩き方を提案する「デジタル・五湖」サイトを作成。
- 2017 年度 予算打ち切りにより、両サイトとも閉鎖。

#### **2017 年 5 月～ 「知床情報玉手箱」のサイネージ化 【知床財団事業】**

- 「知床情報玉手箱」を個人スマートフォンだけでなく、各種案内施設やホテルの館内 PC・サイネージ等でも見られるよう別途ページを作成し、知床自然センター・羅臼ビジターセンターのほか、知床プリンスホテル（現・KIKI 知床ナチュラルリゾート）でも運用を開始した。

#### **2017 年 6 月 29 日～ 「知床連山エリア MAP」の販売開始 【知床財団事業】**

- 「知床連山エリア MAP」（和英表記）を作成し、販売を開始した。当初は知床自然センターと羅臼ビジターセンターでの販売であったが、現在は両町の観光施設やホテル等に拡大している。

#### **2017 年 9 月 9 日～ 「しれとこ森づくりの道・開拓小屋コース」運用**

（現在も運用を継続中）

【斜里町事業】

- 新規遊歩道「しれとこ森づくりの道・開拓小屋コース」を開設し運用を開始した。

#### **2017 年 10 月 16 日 平成 29 年度 第 1 回 適正利用・エコツーリズム検討会議**

- 事業の実施状況などを報告した。

#### **<主な意見など>**

- ✓ 満喫プロジェクト、道全体としての議論が進行中であるが、知床は外国人観光客が急速に増えていて、知床での対応は非常に良い例になると思うため、予算の面でも是非考えてほしい。知床財団というひとつの組織で担えるレベルではないと思うため、よく検討してほしい。

## 2018年2月19日 平成29年度 第2回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- 事業の実施状況などを報告した。

### <主な意見など>

- ✓ 将来的には受発信ができるように考えてほしい。インタラクティブにやらなければ効果が出ない。ここではウェブとパンフレットとなっているが、情報媒体というのはガイドも含めた「人」も含まれる。
- ✓ 外国人旅行者だけに限定するわけではなく、知床の魅力をどのように人に伝えるかというのは重要で、文化や住む国が違っていても伝えていく必要がある。その際に大元になる「何を伝えるか」をもう一度見直していただきたい。「何を伝えるか」は明確な言語化が必要である。

## 2018年5月11日 現場関係者意見交換

- 部会開催の前段として、現場の観光関係者などに参集いただき意見交換。  
「知床情報玉手箱」サイトの継続と発展が、現実的で実利があることを確認。ウトロ小型観光船協議会が、観光船情報の更新を直接行うことになり、更新体制が強化。

## 2018年9月27日 平成30年度 第1回 適正利用・エコツーリズム検討会議

- 事業の実施状況などを報告した。

### <主な意見など>

- ✓ 情報発信は着実に前進している。是非第2段階に進んでいただきたい。実質的には今回が3年目の終了になる。第2期に入るという事とほぼ同じ状況である。次回の検討会議の際には、第2ステップに入る際の方向性を提案いただきたい。

## 2018年10月25日～ 「知床のヒグマ」サイトを開設

- 「知床のヒグマ」サイトを開設し、ヒグマ最新情報については「知床情報玉手箱」でも発信した。

## 2019年2月5日 第4回部会

- 部会としては解散することを決定。今後は各団体それぞれが連携をとりながら提案に関連する活動に継続的に取り組むこととなった。